

—適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。—

「使用上の注意」改訂のお知らせ

合成副腎皮質ホルモン製剤
日本薬局方 プレドニゾン錠
プレドニゾン錠2.5mg「NP」
プレドニゾン錠5mg「NP」

2020年7月
ニプロ株式会社

このたび、標記製品の「使用上の注意」を自主改訂により下記のとおり改訂致しましたのでお知らせ申し上げます。

本剤のご使用に際しましては、添付文書の各項を十分ご覧くださいますようお願い申し上げます。

<改訂のポイント>

相互作用(併用注意):「キノロン系抗菌剤」を追記

記

改訂後(_____ 下線:追加記載)	改訂前																	
3. 相互作用 2) 併用注意(併用に注意すること)	3. 相互作用 2) 併用注意(併用に注意すること)																	
<table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>非脱分極性筋弛緩剤 ・パンクロニウム臭化物 ・ベクロニウム臭化物</td><td>現行のとおり</td><td>現行のとおり</td></tr><tr><td><u>キノロン系抗菌剤</u> <u>・レボフロキサシン水和物</u> <u>・メシル酸ガレノキサシン水和物</u> <u>等</u></td><td><u>腱障害のリスクを増加させるとの報告がある。これらの薬剤との併用は、治療上の有益性が危険性を上回る場合のみとすること。</u></td><td><u>機序は不明である。</u></td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	非脱分極性筋弛緩剤 ・パンクロニウム臭化物 ・ベクロニウム臭化物	現行のとおり	現行のとおり	<u>キノロン系抗菌剤</u> <u>・レボフロキサシン水和物</u> <u>・メシル酸ガレノキサシン水和物</u> <u>等</u>	<u>腱障害のリスクを増加させるとの報告がある。これらの薬剤との併用は、治療上の有益性が危険性を上回る場合のみとすること。</u>	<u>機序は不明である。</u>	<table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>非脱分極性筋弛緩剤 ・パンクロニウム臭化物 ・ベクロニウム臭化物</td><td>略</td><td>略</td></tr></tbody></table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	非脱分極性筋弛緩剤 ・パンクロニウム臭化物 ・ベクロニウム臭化物	略	略
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																
非脱分極性筋弛緩剤 ・パンクロニウム臭化物 ・ベクロニウム臭化物	現行のとおり	現行のとおり																
<u>キノロン系抗菌剤</u> <u>・レボフロキサシン水和物</u> <u>・メシル酸ガレノキサシン水和物</u> <u>等</u>	<u>腱障害のリスクを増加させるとの報告がある。これらの薬剤との併用は、治療上の有益性が危険性を上回る場合のみとすること。</u>	<u>機序は不明である。</u>																
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																
非脱分極性筋弛緩剤 ・パンクロニウム臭化物 ・ベクロニウム臭化物	略	略																

【改訂の理由】

○「相互作用(併用注意)」の項

相手薬との整合を図り、「キノロン系抗菌剤」を追記致しました。

以上

今後とも当社製品のご使用にあたって副作用等の有害事象をご経験の際には、当社MRまで、できるだけ速やかにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

- ◎DSU(医薬品安全対策情報)No.291掲載(令和2年8月発行予定)
- ◎流通の関係上、改訂添付文書を封入した製品がお手元に届くまでに日数を要することもございますので、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。
- ◎改訂後の添付文書情報は当社ホームページ(<https://www.nipro.co.jp/>)に掲載しています。また医薬品医療機器総合機構ホームページ(<http://www.pmda.go.jp/>)にも掲載されます。